

防コミの歩き方



みんなで取り組む防災活動と絆

●防コミ紹介

新長田北安心安全の防災福祉コミュニティは、JR 新長田駅北側にあり阪神淡路大震災では大きな被害を受けた地域の一つです。

地域内には、おおよそ 4700 世帯 8700 名の方が生活されており、防災について私たちと共に取り組みを進めています。

今回は、私たちの防コミが取り組んだ防災訓練について紹介いたします。

●防災訓練

昨年の 10 月 6 日（日曜）に、「令和 6 年度新長田北地区合同防災フェスティバル」と題して防災訓練を行いました。

この訓練は、地域の誰もが災害発生時に命が守れるような行動がとれるようになることが目的です。

訓練にはできるだけ多くの方に参加していただくため、近隣の防コミや複数の自治会、まちづくり協議会などに参加の協力を依頼するとともに、災害弱者と言われている、外国人の方や障害のある方にも参加していただくため、神戸国際コミュニケーションセンターや長田区自立支援協議会などにも参加の協力を依頼し、外国人の方

32 名、障がいのある方 13 名を含めた多くの方に参加いただくことができました。

●訓練内容を充実させるために

訓練には長田消防団をはじめ防災士会、訓練会場である蓮池小学校、また各行政（警察、区役所、水道局、環境局、消防署）にも協力依頼し事前検討会議から参画していただきました。

訓練当日は、地震体験車「ゆれるん」や消火器の体験、いつでも蛇口や簡易トイレのほか段ボールベッド、高齢者疑似体験など充実した訓練内容となりました。

訓練の最後に、豚汁の炊き出しを行い多くの方に食べていただきましたが、宗教上の理由で食べることができない参加者がいることが予想されたことから、誰もが食べれる非常食を用意することにしました。

●今後に

今回の訓練ではある程度所期の目的が達成できたのではと感じますが、改めて気が付いた点などもあり、今回の訓練で得た課題を次回の訓練で生かしたいと思います。

（新長田北安心安全の防災福祉コミュニティ
本部長 中森 豊）

